

## ■ 頼城地区で大雨による土砂災害を想定した防災訓練を実施



8月31日、大雨による土砂災害を想定した平成28年度防災訓練が、頼城地区を対象に行われました。

訓練では、頼城地区の住民の皆さんを自衛隊の車両などを使って青少年会館に避難誘導し、同館内に避難所を開設。町内会や北海道地域防災マスターあしべつ倶楽部の方々の協力で簡易ベッドの設置や炊き出し訓練などを行

ました。

また同館グラウンドでは、国道452号で乗用車が土砂崩れに巻き込まれたことを想定しての救出訓練が消防署、警察署、自衛隊によって行われたほか、芦別市消防団と自衛隊共同による土のう積み訓練＝写真＝が行われ、参加した住民らが見学、自然災害に対する心構えを新たにしていました。

## ■ 芸術文化交流館で書道教室と秋祭りを開催

新城町の芸術文化交流館で8月27日、書道教室が行われたほか、9月4日には、新城町の住民の皆さんや同館内にアトリエを構える芸術家の皆さんが参加しての「秋祭り」が開催されました。

書道教室には、市内の小学生を含む12人が参加。芦別市書道連盟会長

の須藤桂城（本名・栄松）さんの指導で「秋」、「天高気清」など、秋にふさわしい題材で書道の基本を学びました＝写真＝。また、「秋祭り」には旧新城小学校体育館を改装した展示ホールに200人ほどが集まり、油彩画や書道作品に囲まれながら、交流を深めていました。



## ■ 秋晴れの下、にぎやかにふれあい広場が開催される



9月4日、「星の降る里ふれあい広場」が、市役所庁舎前のもとまち公園で開催されました。

これは、地域で生活する方々が互いに助け合い、理解し合うまちづくりをしよう、と芦別市社会福祉協議会と芦別市身体障害者福祉協会が毎年開催しているものです。

当日は、高齢者健康コンクールの

表彰＝写真＝が行われたほか、会場内では、市内の福祉施設やボランティア団体がチャリティバザーやフリーマーケットなどを出店。盲導犬体験や車椅子体験、福祉車両・機器の展示も行われました。また、手話サークルによる合唱やのど自慢大会などが行われ、秋晴れの下、終日和やかな雰囲気に包まれていました。

## ■ 道警音楽隊と市内の児童・生徒が吹奏楽合同演奏、交通安全をアピール

9月21日からの秋の全国交通安全運動に合わせて、市内では「市民決起大会」が9月17日、市民会館で開催され、北海道警察音楽隊・カラーガード隊が来市し演奏やステージドリルを披露したほか、芦別小学校、芦別中学校、芦別高校の各吹奏楽団体と合同演奏し、市民の皆さんに交通安全をアピールしました。

決起大会には、約600人の市民の皆さんが参加し、子どもと高齢者の事故防止や飲酒運転の根絶などを重点とする交通安全運動の取り組みを確認。この後、道警音楽隊の単独演奏のほか、市内の児童、生徒と100人を超す大編成により、『明日があるさ』など計4曲を演奏、交通安全運動の盛り上げに一役買いました。

